

図書館 コーナー

～新着図書～

「脳外科医の幕間」

(三輪和雄著・朝日イブニング

ニュース社)

第一線の脳外科医が綴る医学や医療に関するエッセイ集。脳死と臓器移植などの最新テーマをはじめ、先端技術の解説、現代医療への告発、現場からのルポも収録。

＜一般書＞

◇曲り角(神吉拓郎著)◇武器としてのことば(鈴木孝夫著)◇波光きらめく果て(高樹のぶ子著)◇日曜日と九つの短編(連城三紀彦著)◇トヨタシステム(門田安彦著)◇腹鼓記(井上ひさし著)◇いろはにオトコ(来生えつこ著)◇千人針(森南海子著)◇暗闇のセレナーデ(黒川博行著)◇モーツァルトは子守唄を歌わない(森雅裕著)◇スポーツは地球を回る(伊藤修著)◇妻は二度死ぬ(ジョルジュ・シムノン著)◇父・圓生(山崎佳男著)◇敦煌(井上靖著)◇魚雷艇学生(島尾敏雄著)◇東條秘書官機密日誌(赤松貞雄著)ほか

＜児童書＞

◇アンナとその楽団(ジョゼフ・ジョッホ著)◇おねがい！明日を(手島悠介著)◇紅葉のふしぎ(あかね書房刊)◇とうげのおんぼろバス(おぼまこと著)◇すうじの絵本(五味太郎著)◇りゅう子の白い旗(新川明著)◇ラプンツェル(バーディッド・ワッツ絵)ほか

＜中央図書館の休館日＞ 10月20日、24日、11月3日、4日、17日、23日、28日



大館町の玄関口であった舟場には、旅籠、飯茶屋、硫黄小屋や舟運関係の建物が立ち並び賑わっていた。舟場に揚げ下しされる荷物は、荷車、大八車や馬の背につけて、歩行坂、馬坂を往來した。もちろん旅人や商人、そして近郷の人々の往來も頻繁であった。しかし、鉄道の開通によってその姿は一瞬のうちに消えてしまった。舟場から大館町の中心部へは、通称「太平山」台地の南麓を通る歩行坂と、北麓を通る馬坂の二本の道があり、神明社前から足軽町(現在の常盤木町)へ結んでいた。二つの坂とも太平山台地の崖裾を切り崩してつくった登りのきつい坂であった。太平山台地の崖裾には数カ所の湧水があつて、往來する人々の疲れを癒していたが、現在、我々が目にするのができる



▲歩行坂の湧水



▲馬坂の湧水

歩行坂と馬坂の湧水
明治三十二年(一八九九)、矢立峠の天険を越えて、青森から大館までレールが敷設され、大館地方は鉄道時代に入った。鉄道開設以前は、米代川が北秋田地方の大動脈であり、大館地方の経済は、米代川舟運によって支えられていたといつても過言ではない。

のは、歩行坂、馬坂にそれぞれ一カ所、水量も豊かではない。太平山台地上は、縄文時代晩期の、いわゆる亀ヶ岡文化の大集落跡で、およそ二千五百年ほど前に、この地に集落を営んだ先人たちの生活の糧としていたことであろう。(市役所 史跡探訪会)

大館の歴史散歩

泉 ⑦

第6回大館市産業祭
11月2日～6日

「興そう
伸ばそう
郷土品」

▽市民体育館と桂城公園

とき・11月2日～6日

午前9時～午後5時

●大館葉菜百年祭展

銘菓の出品、即売

お茶室コーナー

お楽しみ抽選会

●金細工展(黄金のふる里展)

指輪、ペンダント等の展示、即売、指輪等の無料修理

●木製品、機械金属品、食料品、繊維品、菊花、植木の展示会

●三鶏展(期間中)

●秋田犬展(東北、北海道総支部展)

とき・11月3日(日)午前9時から

▽城西体育館

とき・11月2日～4日

午前9時～午後4時

内容・農産物共進会、果樹共進会、生活工夫展、園児小学生書道図画展、寿作品展、手づくり食品即売会など

●ミス農協まつりコンテスト

とき・11月3日午前10時から
●地区別演芸大会
とき・11月3日12時30分から
腕すもう大会
とき・11月4日午前10時から

▽大館市農業会館

●講演会「リーダーとしての役割」講師 ABS秋田放送

とき・11月2日午後1時から

●米消費者懇談会

とき・11月4日午前10時から

●農事発表大会

とき・11月4日午後1時から

▽卸売市場(市場まつり)

とき・11月3日午前9時～12時

●市民参加セリ売り(青果、水産物)

午前9時15分～9時30分

●特価即売会(青果、水産物)

午前9時30分～12時

●量目クイズ大会

午前9時30分～10時30分

●ゲームコーナー

午前9時40分～11時

●その他
露店コーナー、試食コーナー、釈迦内小学校トランペット鼓隊

▽婦人会館まつり

とき・11月2日～3日

午前10時～午後5時

内容・展示会、実演発表、ダンスの夕べ、映画会、バザー

▽その他の会場

●ところめし大喰大会

とき・11月3日11時30分から

ところ・農協本所前